

## マルチフィックス

再使用禁止

### 【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 縫合固定の代わりに使用しないこと

### 【形状・構造及び原理等】

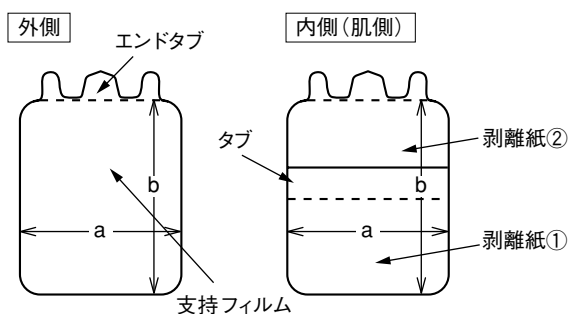
#### 1. 種類・規格

種類	粘着フィルム(a×b)
1号	48mm×48mm
2号	60mm×70mm
3号	80mm×100mm
4号	100mm×125mm
5号	80mm×180mm
6号	100mm×200mm
S-2号	150mm×150mm

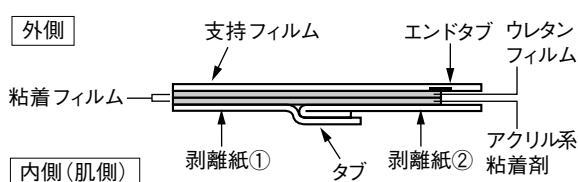
#### 2. 形状・構造

##### \*1) 形状・構造

<平面図>



<断面図>



##### 2) 材質

- ・粘着フィルム：ウレタンフィルム（基材）、アクリル系粘着剤（粘着剤）
- ・剥離紙①、②：上質紙、ポリエチレン、シリコーン

#### 3. 原理

ウレタンフィルム及び粘着剤からなるフィルム材で、カテーテルや注射針等の刺入部へ貼付することにより、刺入部及びその周囲を半密閉状態にして保護する。また、創傷部へ貼付することにより、創傷を被覆・保護する。

### 【使用目的又は効果】

#### 1. カテーテル被覆・保護材用途

注射針又はカテーテル刺入部位に直接貼付してその固定に用いる。

#### 2. 救急絆創膏用途

傷の被覆及び保護、身体の創傷部位の支持等に用いる。

### 【使用方法等】

#### 1. 貼付前

- 1) 本品貼付部を清拭、洗浄し、必要に応じて消毒を行います。清潔にした後、水分をよく取り除きます。
- 2) 使用目的、貼付部位にあったサイズを選択します。

—注意—

創縁から十分な範囲（サイズによるが2cm前後以上）カバーでき、水分が取り除かれた健常皮膚にしっかり密着させられるサイズを選択してください。

#### 2. 貼付

- 1) 貼付面が乾いていることを確認の上、本品の剥離紙①、②のタブを持ち、貼付面が手触れないように剥離紙を両側に開きながら剥がし、創部に貼付します。
- \*2) 全体を特に粘着面周囲をよく押さえつけ密着させます。
- \*3) エンドタブを持ち上げ、支持フィルムを対角線上に剥がします。その後、全体を軽く押さえよく密着させます。
- 4) シワ、浮きがないことを確認します。

—注意—

- ・皮膚障害の原因となるため本品を引っ張り伸ばした状態で貼付しないでください。
- ・刺入部への貼付時は、注射針やカテーテルに沿ってよく密着させてください。

#### 3. 交換・除去

- 1) 本品を除去する場合は、皮膚が変形しないように皮膚を押さえ、フィルムに対し180°の方向にゆっくり剥がします。また、カテーテル刺入部や他の器具から剥がす際は、抜かないようにカテーテル等を押さえながらゆっくりと剥がします。

—注意—

- ・症状が悪化、又は治癒が遅れることがあるため、出血や再生した皮膚の剥離を伴わないように注意して本品を剥がしてください。
- ・本品を同一部位へ繰り返し貼付すると、皮膚障害が起こるおそれがあります。貼付部位の観察をよく行い、皮膚障害及びそのおそれが見られる場合は、本品の使用を中止し、適切な処置を行ってください。また、創の観察を十分に行い、滲出液の量や創の状態に応じて適切な交換及び処置を行ってください。
- ・本品に破れ等の破損、シワや浮きを含む剥がれ等、又は滲出液漏れなどが起きたとき、起きそうときは速やかに新しい本品と交換してください。防水性及び外部からの汚染を防止できなくなることがあります。

### 【使用上の注意】

#### 1. 重要な基本的注意

- 1) 本品使用中に発赤、びらん、そう痒等の皮膚障害と思われる症状が現れた場合は、本品の使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2) 刺入部及び創面に臨床的感染、又はそのおそれがある場合は、使用を中止し、適切な処置を行うこと。また、全身状態が悪い場合は、特に注意して使用すること。症状を悪化させるおそれがあります。
- 3) 滅菌包装が汚損又は破損している場合、及びそのおそれがある場合には使用しないこと。
- 4) 滅菌包装を開封したら直ちに使用すること。

**【保管方法及び有効期間等】**

**1. 保管方法**

水濡れ、直射日光、及び高温多湿を避け、室温で保管すること。

**2. 有効期間**

パッケージに表示。(自己認証データによる)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

**1. 製造販売業者**

アルケア株式会社

**2. 連絡先**

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階  
お客様相談室： ☎ 0120-770-175